三島公園　小林一茶句碑

ロータリーに輝きを

事務局　四国中央市金生町下分８６５　四国中央商工会議所内
http: // www.iyomishima-rc.jp　ＴＥＬ(0896) 58－3530
E-mail:iyomis@iyomishima-rc.jp　ＦＡＸ(0896) 58－6294
例　会　金曜日　12：10～13：10
■会長／篠原聡一　■幹事／井原　伸　■広報委員長／松本浩一

Light Up Rotary
2014～2015年度国際ロータリー会長

No.３３
平成 27.2.13
第２９２１回

Ｉ　Ｍ　報　告

インターシティー・ミーティングに参加して

佐　藤　慎　輔

2月7日に今治で行われたIMに初めて参加しました。200 名余りの参加がありロータリーはたくさんのクラブが組織され成り立っているのを知りました。

今回はスポーツに焦点をあてたもので、身近に感じる中身でした。東京オリンピック・パラリンピック、また愛媛国体に優先順位をおいて何をしていくか考えさせられるものでありました。
国体が 2017 年にあるということは、地域にとってプラスとなることが間近にある高揚感もこれから出てくるのではないでしょうか。

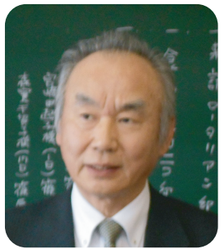
基調講演では、やり投げの村上幸史氏の話がありました。まだまだ現役を続行されるようで、年を重ねてから、怪我を乗り越えてからの方が記録を伸ばしているということです。やり続けることの大切さを語ってくれました。最も興味を持って聞けたのはアスリート同志が心掛けていることを3つ披露してくれたことでした。トレーニングをこれで勝てると思うまでやること、失敗した時の経験を知識として本番では同じことをしないこと、自分の可能性を信じ限界を持たないことです。スポーツの魅力をあらためて教えてくれました。

２つ目の講演は、ありがとうサービスの社長、井本雅之氏でした。FC今治のオーナーに就任したサッカー日本代表元監督の岡田武史氏のビデオ上映が冒頭にあり、話題性の高い内容でした。夢、ビジョン、目標を持つという点で経営とスポーツの共通項を挙げた、ダイナミックな話が聞けたと思います。夢の中でも妄想に近い段階が大事であるという点に共感を持てました。

各クラブからの報告にも地域性があって、地域活性化と青少年に夢を持たせるための活動が行われていることを知りました。

例会とは違った雰囲気の中で、諸先輩方からも色々と教わり、有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

Ｉ Ｍに参加して



林　　直　　志

２月７日(土)今治国際ホテルで執り行われたＩＭなるものに参加させていただきました。愛媛第一分区　９地区　２３０名余りの出席でした。
今年で３回目の出席となりました。

入会初年度は、西条ロータリークラブの担当で テーマは「巨大災害に備えて」ということで愛媛大の先生の講演のあと、各クラブから１名パネラーとして登壇し発表するのを見て大変なプレッシャーだろうなと思っていました。

２回目の去年は川之江ロータリークラブの担当で、市内のホテルであり、パラリンピックに出場した 京谷氏の「絆～人生を変えた様々な出会い」車椅子での講演でしたが、出会い・感謝・夢を実現する為の努力　苦境をバネにして生きる姿を見せられました。

そして今年は「東京オリンピック・パラリンピックに我々ができること」
サブタイトルに「えひめ国体を弾みに 地域活性化と青少年に夢を」というテーマでした。

基調講演は、村上幸文氏 めぐまれたＤＮＡで野球少年から中学の先生のアドバイスでやり投げの世界へ　２．７ｍ　重さ８００ｇのやりを約７６～８６ｍ投げてきたとの事。高校、大学での監督・コーチの出会い 不屈の精神で何でも出来るという自信をもってやってきた。又係わったスポーツ選手のエピソードの話であった。

基調講演後のミーティングとして各地区代表がテーマにそった発表があり、川之江ロータリーは障害者福祉ボーリング・障害者スポーツ交流会等について発表。三島ロータリーの篠原会長は、四国中央市の国体実行委員会・教育委員会の視察・取組・対応そして民泊等の活動状況を理路整然と発表され大役を見事にこなされました。　　お疲れ様でした。

基調講演をする村上幸文氏

会場を埋め尽くすロータリアン

初めてのインターシティー・ミーティング参加

久　米　良　樹

平成27年2月7日、今治国際ホテルにて開催されたインターシティー・ミーティングに初めて参加いたしました。
テーマは「2020年東京オリンピック・パラリンピックに、我々ができること～愛媛国体を弾みに、地域活性化と、青少年に夢を～」で、村上幸史氏と井本雅之氏の基調講演とミーティングで構成されていました。

村上幸史氏の基調講演は「20年間の競技人生を振り返って」と題し、村上氏のやりなげ競技にかける思いや経験談、トップアスリートとしての考え方等を話されました。

中学時代までは野球に熱中し、甲子園に出ることやプロ野球選手になることが夢であったが、高校時代に出会った恩師からやり投げを勧められた。全く乗り気ではなかったが「日本一になれ」と言われた一言で、陸上の世界に身を投じることになった話が強く印象に残りました。

井本雅之氏の基調講演は「夢をカタチに　夢を勇気に　夢を今治から」という題。

話の中で、とてつもなく高い夢は「妄想」と言われるが、夢はやはり高く持たなければならない。特に、夢を実現するための要素が3つあり、①100人が諦めても諦めない、②より多くの人が喜ぶイメージを持つ、③家族や妻・母といった一番身近な人を大事にする、という話が新鮮に聞こえました。

また、印象深かったのは、今治スポーツクラブの設立に当たってクラブのビジョンが明確に示されていたこと。経営形態として、「健全な財務体質を最優先した経営を行う」としていたり、「アルビレックス新潟をベンチマークとする」とか、明確な中期経営計画を立てられていたりとか、夢を実現するためには、理想論だけではなく具体化されたビジョンと道筋を立てなければいけないのだ、と感じました。

ミーティングについては、各クラブのスポーツに関する活動について、各々が発表されました。当ＲＣでは、篠原会長自ら発表されました。四国中央市では国体対策課を設立したこと、教育委員会が和歌山に視察したところ、愛媛の力の入れようが非常に強かったこと、当市がフェンシング競技について「民泊」を実施すること、などの活動状況を発表されました。会長ご自身がスポーツに関して非常に造詣が深く、発表も堂々としていて、同じ伊予三島ロータリーメンバーとして誇らしい思いがしました。

IMが始まるまでは、そこで何が行われるのかさえも知らず、ただ会場に行っただけの私でしたが、講演やミーティング等の議事が進むにしたがって、自らのモチベーションの高まりを感じられた、非常に有意義な初めてのIM参加でした。

Ｉ　Ｍ　報　告

桂　　髙　司

2014－2015年度　第2670地区　愛媛第1分区インターシティ・ミーティングが2月7日今治ロータリークラブ主催で今治国際ホテルに於いて開催されました。久米実行委員長が来賓3名以下9参加クラブ（会員247名）の紹介後（西条の紹介を忘れるハプニングがありましたが）開始されました。
開催趣意は「2020年東京オリンピック・パラリンピックに、我々ができること」と題して行われました。

先ず一回目の基調講演は講師として、やり投げの村上幸史氏が「20年間の競技人生を振り返って」という演題で、子供の頃からの足跡に沿って話されました。初めに「講演するよりオリンピックのほうがずっと楽です。」という言葉で始まり、中学入学まではプロ野球選手になるのが夢だった少年がなぜ「やり投げ選手」になったのか、それは色々な人との出会いがそうさせたんだ、と村上氏が述懐されました。中学生になって体育教師の中谷先生が体格を見て、やり投げを勧められ「全国チャンピオンになれ」という言葉に興味を持ったのがきっかけだったそうです。

高校は今治明徳高校に進みその監督が中谷先生の同級生で浜本先生でした。高校の3年間は寮生活で、与えられた練習メニューを毎日、只がむしゃらにするだけで、卒業式の日だけ練習をさぼったくらいで他の思い出と言うと、誰もいない食堂で只一人冷めた夕食を食べるとき食器の音だけが聞こえるのが一番辛かったそうです。

大学も寮生活でしたが高校から慣れていたので何も辛くなかったが、他の人の中には耐え切れず辞めていったのは、環境の変化についていけなかったからで、高校でいくら実績があっても大学に入って駄目になる人は、自分自身で造り上げていく事をしなかったのではないかと思ったそうです。大学の小山監督も中谷先生の同級生で、右肘を剥離骨折して治療か手術か逡巡した時「投げる為に手術しろ」という言葉で決心し、手術した結果、術後のほうが記録が伸び、怪我から多くの事を学んだそうです。社会人のスズキ自動車ではオリンピックを目標に練習に励み、アテネオリンピックに出場したが、決勝の10人に残れず15位で予選落ちし落ち込んでいるとき、小山監督に「一歩世界に近づいたじゃないか」と励まされ、またやる気になれたそうです。

今も現役で競技ができているのは、3人の監督との出会いがあり、また継続の大切さ（難しさ）を教えてもらったおかげだと語って終わりました。2回目の基調講演では講師の井本雅之会員が「夢をカタチに　夢を勇気に　夢を今治から」という演題で、スポーツを通じて豊な心　健康な体を育てる事を設立主旨に「NPO法人しまなみスポーツクラブ」を立ち上げた話や、FC今治設立時の苦労話をされました。

ミーティングでは9地区のクラブがそれぞれの活動状況を発表しましたが、趣意が大きすぎて難しかったという感想が聞こえてきました。最後に講評を松山西RCの須之内ガバナー代理が、アスリートは人格があって後輩がついて来る「昨日の夢は今日の希望であり明日の現実である」という言葉で締めくくり、参加者全員で手をつなぎロータリーソング「手に手つないで」を合唱して閉会しました。

第２９２１回　　例　会　記　録　　平成２７年２月１３日

開会　篠原聡一　会長

来訪ロータリアン紹介
（川之江）星川和紀氏、山川浩一郎氏

出席報告
出席会員（３６名中）　２４名
出席率　６６．６７％
第２９１９回修正出席率　９４．４４％

会長の時間
○結婚記念日お祝い
今村定生御夫妻（26年）、

○出席表彰
井原　伸君（３年）、

○国際ロータリーより、Ｒ財団ＰＨＦ認証状･ピン
・４０００ドル達成（ＭＰＨＦ）
森川憲二　会員、　藤田誠一　会員
・３０００ドル達成(ＭＰＨＦ:Ｒ財団地区奉仕賞)
西岡　孟　会員、　合田節男　会員、
森川教義　会員、　大西直方　会員
・２０００ドル達成（ＭＰＨＦ）
今村準一　会員、　篠永靖司　会員、
新田敏晴　会員、　加地信彦　会員
大西英彦　会員、　石川　勉　会員
・１０００ドル達成（ＰＨＦ）
加地　清　会員、　竹本哲也　会員、
高岡　淳　会員、　曽我孝志　会員
金崎敏明　会員、　篠原聡一　会員、
中野　哲　会員

幹事報告
・例会変更通知
（新居浜南）
日時　３月３日(火)　夜間例会
場所　ユアーズ

例会行事
ＩＭ報告

ニコニコ紹介
誕　生　祝～香川マミ様

出 席 表 彰～井原　伸君

2月27日プログラム予定

卓 話 （ 内 部 ）
（ 定 例 理 事 会 ）